

J-POWER “BLUE MISSION 2050”

取り組み詳細についてはP.32～P.37をご覧ください。

3つのアクションプラン

J-POWERグループの長期戦略・ロードマップとしてJ-POWER“BLUE MISSION 2050”を策定しています。「CO₂フリー電源の拡大」「電源のゼロエミッション化」「電力ネットワークの安定化・増強」を3つの柱として、それぞれが持つ課題を段階的に解決しながら、カーボンニュートラルと水素社会実現に向けたトランジションを進めていきます。

CO₂フリー電源の拡大

- 再生可能エネルギーのさらなる拡大
- 原子力発電の着実な推進

電源のゼロエミッション化

- 火力発電からCO₂フリー水素発電への転換
- CO₂フリー水素の製造・供給
- CCS

電力ネットワークの安定化・増強

- 電力ネットワークの安定化
- 電力ネットワークの増強

加速性とアップサイクル

実行のプライオリティとして「加速性」と「アップサイクル」を掲げています。加速性については、再生可能エネルギーの新規開発だけでなく、水素発電など調整力の提供や電力ネットワーク増強により、日本全体の再生可能エネルギー拡大を加速させます。また、アップサイクルは、既に保有する経営資源に新技術を適用して高付加価値なものに変換する考えです。具体的には、水力・風力のリプレースや、火力発電所への水素・アンモニア・CCS技術の付加などに取り組みます。

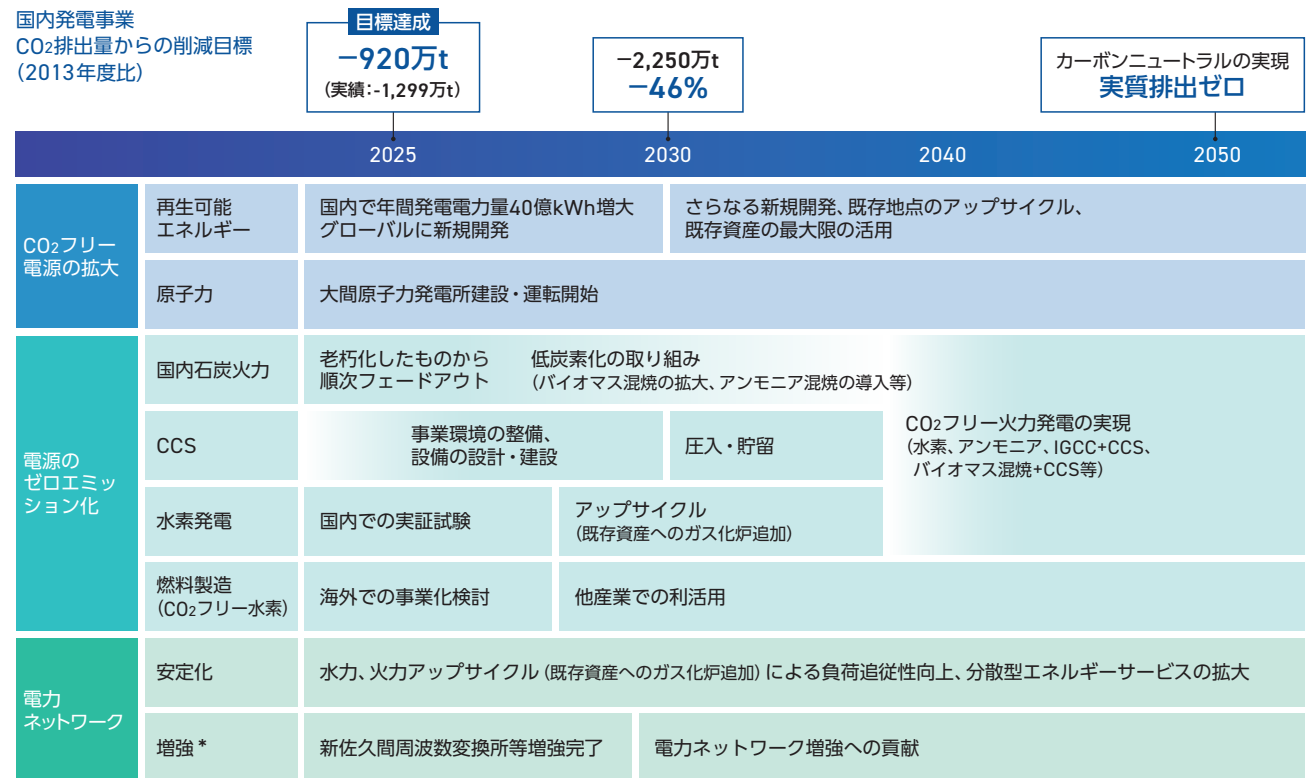
ロードマップとCO₂排出削減目標

2050年のカーボンニュートラル達成に向けた短期・長期の目標として、2025年度および2030年までのグループ国内発電事業*からのCO₂排出量の削減目標を設定しています。

ロードマップは、政府のGX政策（エネルギー基本計画・地球温暖化対策・NDC等）、電力需給状況、電力制度設計、産業発展の進捗等の前提条件に応じて随時更新・見直し・詳細化していきます。

* 削減目標の対象となるJ-POWERグループの国内発電事業からの排出量はScope 1の約8割を占める。

* 再生可能エネルギーの拡大や大間原子力発電所の運転は、当社の火力発電所のCO₂削減には直接寄与しないが、排出原単位の低減や販売先である発電事業者・需要家のCO₂削減に貢献する。



* 電力ネットワークの増強はJ-POWER送変電が実施

[P.39 キャピタル・アロケーション](#)

[P.19 海外事業の取り組み方針](#)

[P.109 Scope 1-3データ](#)

[P.42 CO₂排出量推移](#)